

市民人権啓発事業

～明るく住みよいまちづくり～

「第25回阿南市人権フェスティバル」

本市では、「人権の尊重」を市政の重要施策に位置付け、すべての市民がお互いの人権を尊重し合い、心豊かに安心して暮らせる希望に満ち溢れたまちづくりを推進する事業の一環として、平成8年から明るく楽しい、市民の方が参加しやすい雰囲気の中で人権にふれあうイベントとして実施しています。

今年度は、記念行事に地元、中村園太夫座による人権人形浄瑠璃「越後母恋情話」を上演いたします。また、同時開催として「第23回ふれあいまちづくりフェア」、人権啓発標語・ポスター及び人権作文 表彰式を行います。

日時 12月5日(日) 9:50開会宣言 ～ 14:00

会場 阿南市文化会館・富岡公民館

行事 記念行事 10:00～ 人形浄瑠璃「越後母恋情話（えちごははこいじょうわ）」 出演：中村園太夫座

同時開催 第23回ふれあいまちづくりフェア

人権啓発標語・ポスター及び人権作文 表彰式

その他 徳島インディゴソックス球団によるゲームコーナー、人権絵はがき展示、子どものための特設人権相談所、国際交流コーナー、手話教室等

◆記念行事について

《中村園太夫座（岡花座）》は、2003年「人形浄瑠璃を通して人権を考える」という自主事業を創設し、市内及び県内各地で啓発活動を行っています。

人形浄瑠璃や箱まわしと言われる芸能は、被差別部落の人々などがその担い手となってきたという歴史もあり、その存在なくしては人形浄瑠璃という芸能文化の継承と繁栄はありえなかったともいわれています。脈々と受け継がれてきた、郷土の文化を通して、人権問題について考えていただきたいと思います。

本演目は拉致問題を基にした、中村園太夫座の創作人権浄瑠璃です。

問い合わせは 人権・男女共同参画課（☎22-3094）へ